報道関係者各位

Press release

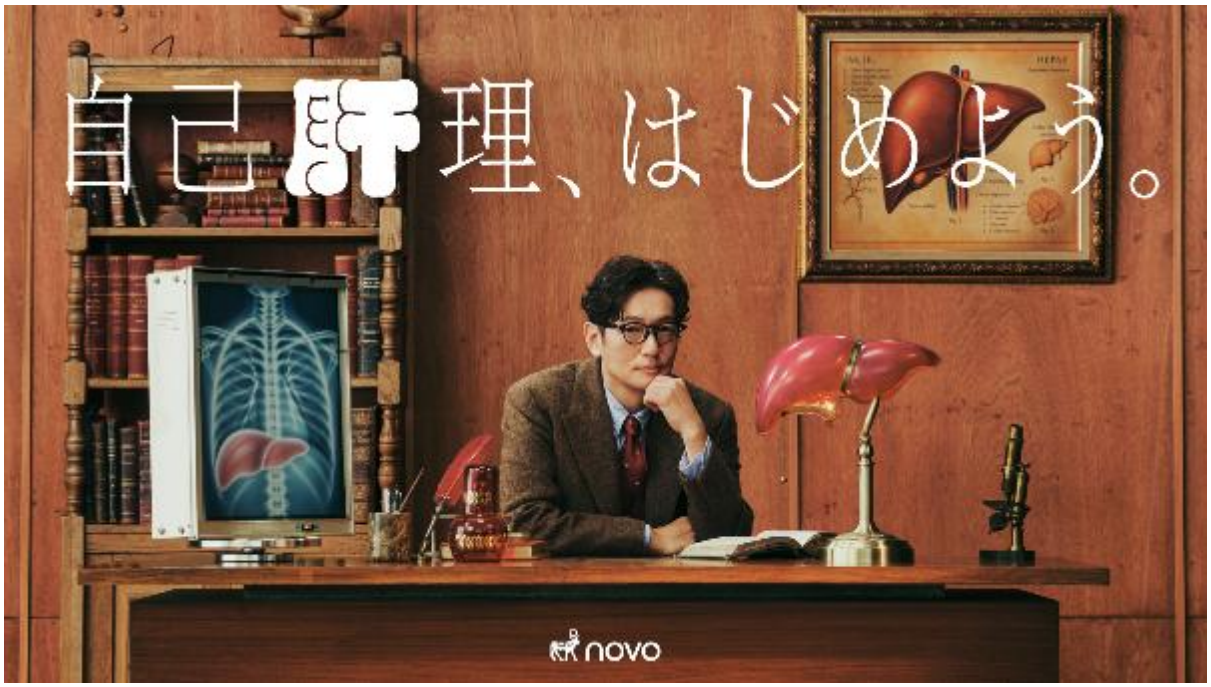
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2026 年 11 月 26 日

ノボ、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）疾患啓発キャンペーン「自己肝理、はじめよう。」を本日より開始

俳優の井浦新さんを起用し、肝臓の健康への関心と、健康診断結果の確認・必要時の医師への相談を呼びかけ

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社（代表取締役社長：小谷啓輔、本社：東京都千代田区、以下ノボ）は、本日 11 月 26 日（木）より、MASH（マッシュ：代謝機能障害関連脂肪肝炎、以下 MASH）に関する疾患啓発活動「自己肝理、はじめよう。」キャンペーンを開始します。本キャンペーンは、肝臓の健康への関心を高め、健康診断の受診や結果の確認、必要に応じた医療従事者への相談につなげることを目指すものです。



お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル

Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）は、日本で成人の約 4 人に 1 人いるとされている脂肪肝（脂肪性肝疾患）[1]の一つです。肝臓に脂肪が蓄積することで引き起こされる進行性の疾患で、アルコールをほとんど飲まない、まったく飲まない方でも MASH になることがあります[2-4]。MASH は初期には症状がないことや気づかないことが多くありますが、診断されないまま進行すると、肝臓が徐々に固くなり（肝臓の線維化）、肝硬変や肝がんなど、重篤な疾患になるリスクが高まります[2-4]。一方で、早めに発見し、治療として生活習慣を見直すことで、MASH の進行を止めるだけでなく、改善が期待できることも分かっています[4-6]。

国内では、MASLD（脂肪性肝疾患の一種。MASH は MASLD のうち炎症などが確認された状態）は男性に多く、男性の 40～50 歳代で割合が高い傾向が報告されています[1,7]。こうした背景を踏まえ、ノボは、健康管理に自信がある 40～59 歳の男性 2,000 人を対象に、肝臓の健康に対する意識や行動に関してインターネット調査を実施しました[8]。

その結果、健康管理に自信がある 40～59 歳の男性 2,000 人の 72.3%が、MASH の名称を「見聞きしたことがなかった」と回答しました。また、過去 3 年間に健診・人間ドックを一度も受けていない人は回答者の約 5 人に 1 人（20.1%）であり、これまでに脂肪肝を指摘されたことがあると回答した 343 人のうち、約 6 割（60.1%）は、指摘後の行動として「医師に相談した、または診察を受けた」を選びませんでした。

こうした背景を踏まえ、ノボは「自己肝理、はじめよう。」キャンペーンを通じて、MASH や肝臓の健康への関心を高め、健診の受診、結果の確認、必要に応じた医療従事者への相談を呼びかけていきます。本キャンペーンでは、俳優の井浦新さんをアンバサダーに起用し、12 月上旬より順次、院内掲示用ポスターを医療機関へ提供するほか、12 月中旬からは JR 東日本・東京メトロ・JR 西日本の車内モニターで啓発動画を、12 月下旬からは全国でテレビ CM を放映します。

【新 CM 概要】
タイトル ：MASH 疾患啓発「自己肝理」編
放映開始日：2026 年 12 月下旬より順次
URL：MASH を知る | NovoCare™ - ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

ノボは、本キャンペーンを通じて、より多くの方が肝臓の健康に関心を持ち、ご自身の健康状態を知り、必要に応じた医療従事者への相談につなげていただけるよう、今後も疾患啓発に取り組んでいきます。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

参考文献および注釈：

1. Fujii H et al.: Hepatol Res 53(11): 1059-1072, 2023
2. Bansal SK, Bansal MB：Aliment Pharmacol Ther 59(Suppl 1)：S10-S22, 2024
3. Kanwal F et al.：Diabetes Care 44(9)：2162-2172, 2021
4. Wang S, Friedman SL ：Sci Transl Med 15(716)：eadi0759, 2023
5. Caldwell SH, Argo CK：Dig Dis Sci 60(4)：810-812, 2015
6. EASL, EASD, EASO：J Hepatol 81(3)：492-542, 2024
7. 文献 1 は従来の NAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）を対象とした研究であり、本リリースでは、同文献の考え方を踏まえ、NAFLD に関する知見を MASLD の説明に用いています。なお、文献 1 の結果は NAFLD の診断基準に基づくものであり、MASLD の診断基準による解析結果ではありません。
8. ノボ ノルディスク ファーマ株式会社：「脂肪肝に関する調査」, 2026（調査概要および調査結果の詳細は別添参照）

ノボについて

ノボは、「Lasting Health Starts Now」を掲げるグローバルヘルスケア企業です。100 年以上にわたり、最先端の科学的知見と人々の暮らしへの深い理解を組み合わせ、何百万人もの人々が今そして将来にわたって実感でき、継続できる健康の進歩を後押しする治療やサポートを提供してきました。世界中で働く 67,000 人を超える従業員が、「drive change for lasting health」というパーパスの体現に日々取り組んでいます。また、各社とのパートナーシップ、各種プログラム、投資を通じ、疾病予防、治療へのアクセス拡大、環境負荷の低減にも取り組んでいます。これらの活動を通じてさらに多くの人々がより健やかに暮らせるよう支援しています。
詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.novonordisk.co.jp

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

【別添資料】肝臓の健康に関する調査

健康管理に自信があると回答した 40～59 歳の男性 2,000 人を対象に、脂肪肝・MASH に関する認識や健診受診後の行動を調査しました。

【調査サマリー】

1．MASH の名称を「見聞きしたことがなかった」人は 72.3%。

一方、MASH の名称と疾患内容の両方を知っていたと回答した人は 8.6%でした。

2．健診・人間ドックを 3 回以上受けた人の約 3 割（27.3%）、肝機能検査の判定と対応の必要性を「両方把握」とは回答せず

過去 3 年間に健診・人間ドックを 3 回以上受診した人は全体の 58.7%。このうち 27.3%が、直近の健診・人間ドックにおける肝機能の判定と対応の必要性の両方を把握していませんでした。

3．これまでに脂肪肝を指摘された人の約 6 割は、指摘後に「医師に相談した、または診察を受けた」とは回答せず

脂肪肝を指摘された経験がある 343 人に、直近の指摘時やその後の行動を複数回答で尋ねたところ、206 人（60.1%）は、かかりつけ医などへの相談・受診と、肝臓を専門とする医師への相談・受診のいずれも回答に挙げませんでした。

4．脂肪肝について、健康への影響が大きいと捉える人は 48.2%。一方、自分に関係があると感じる人は 38.5%

脂肪肝を自分に関係がないと感じる人は 29.5%。その理由として、「太っていないと思うから」（43.3%）、「運動をしているから」（41.4%）、「肝臓について問題を指摘されたことがないから」（40.6%）が上位に挙がりました。

5．「飲まない人でも」「太っていない人でも」脂肪肝になる場合があると、いずれも 7 割以上が認識

「お酒を飲まない人でも脂肪肝になる場合がある」に 71.6%、「太っていない人でも脂肪肝になる場合がある」に 72.0%が同意。一方、両方に同意した人の 52.4%は、脂肪肝を「自分に関係がある」とは回答していませんでした。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

【調査結果の詳細】

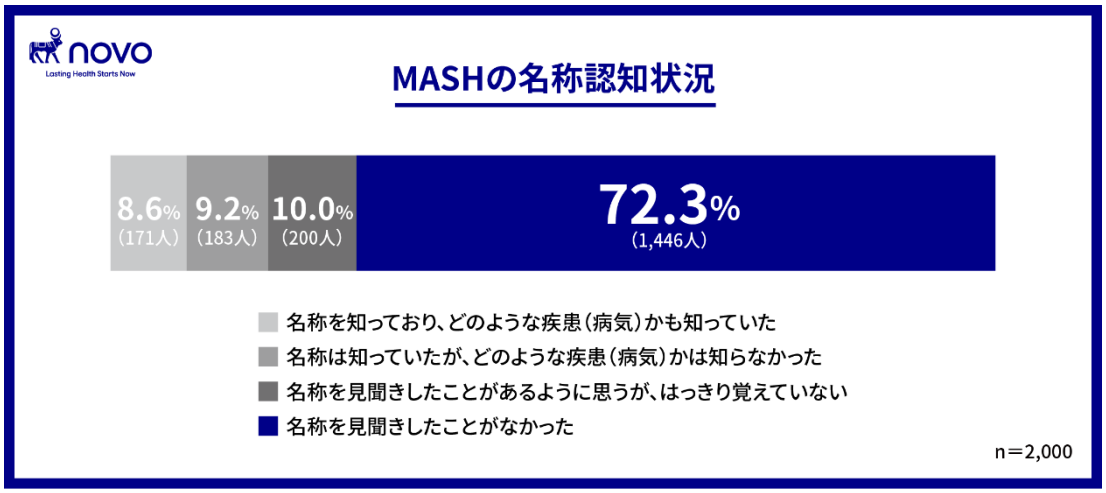
1. 「MASH」という疾患の名称を聞いたことがない人は 72.3%。正しい理解にも課題

MASH の名称と疾患内容の両方を知っていた人は 8.6%

「MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）」という疾患の名称を知っていたかを尋ねたところ、「名称を知っており、どのような疾患かも知っていた」と回答した人は 8.6%でした。

一方、「名称を見聞きしたことがなかった」は 72.3%にのぼりました。

そのほか、「名称は知っていたが、どのような疾患かは知らなかった」が 9.2%、「名称を見聞きしたことがあるように思うが、はっきり覚えていない」が 10.0%でした。



さらに、MASH について最も適切な説明を選択してもらったところ、「肝臓に脂肪が蓄積し、炎症や肝細胞の傷害を伴う疾患」を選んだ人は 35.0%でした。一方、「分からない」と回答した人は 49.4%となりました。

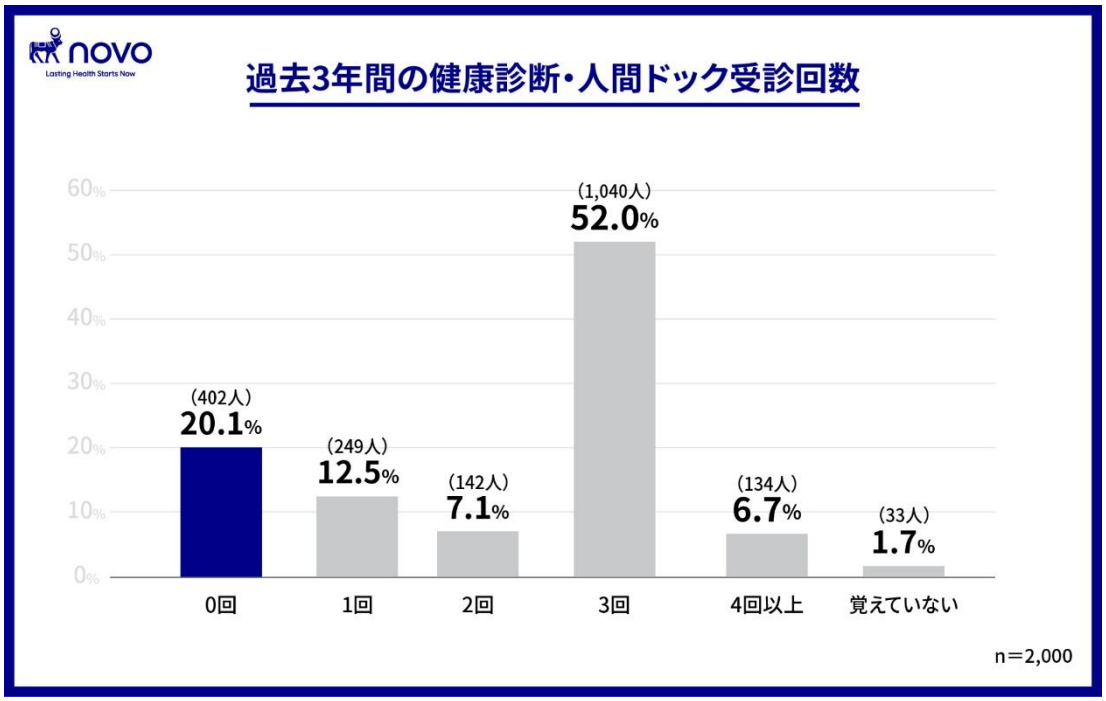
MASH の名称・内容を「もともと知っていたか」という自己申告と、選択肢から適切な説明を選ぶ設問では測定している内容が異なりますが、両方の結果から、MASH の認知・理解には引き続き課題があることが示されました。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

2．健診・人間ドックは受けている。それでも、約 3 割が肝機能の判定と対応の必要性を両方は把握していない

過去 3 年間に健診・人間ドックを 3 回以上受診した人の 27.3%が肝機能の判定と対応の必要性の両方を把握せず

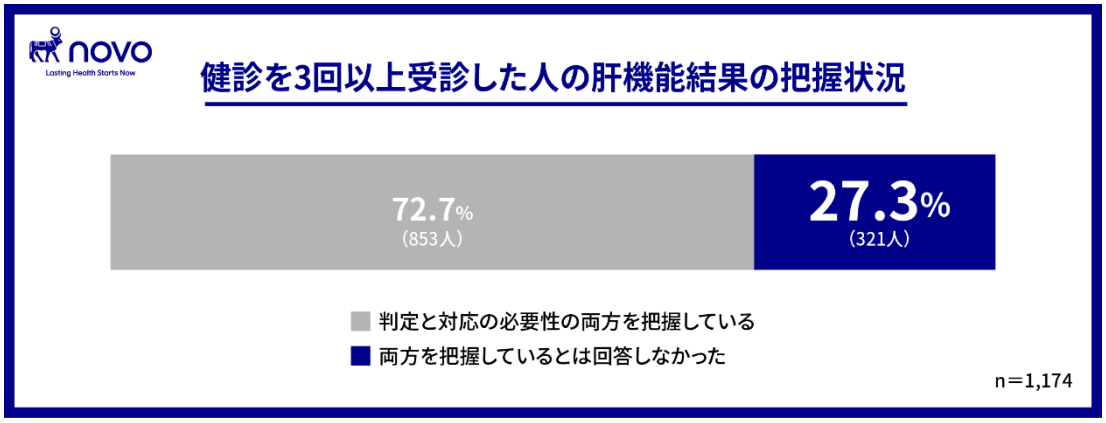
過去 3 年間の健診・人間ドックの受診回数を尋ねたところ、「3 回」と回答した人が 52.0%と最も多くなりました。一方、「0 回」と回答した人も 20.1%いました。



続いて、過去 3 年間に健診・人間ドックを 3 回以上受診した 1,174 人について、直近の健診・人間ドックにおける肝機能の判定と対応の必要性を把握しているかを確認しました。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

その結果、両方を把握している人は 72.7%（853 人）でした。一方、27.3%（321 人）は、判定と対応の必要性の両方を把握しているとは回答しませんでした。



本設問は、健診・人間ドックの結果票や Web 画面を確認せず、回答時点で記憶している範囲を尋ねたものです。この 27.3%には、判定のみを把握している人や、検査の実施状況・結果を覚えていない人なども含まれます。したがって、「27.3%が結果を見ていない」ということではありませんが、健診・人間ドックを繰り返し受診することと、肝機能の判定・対応の必要性を把握していることが、必ずしも一致しない実態が明らかになりました。

3．脂肪肝を「自分に関係がある」と感じる人は 4 割弱

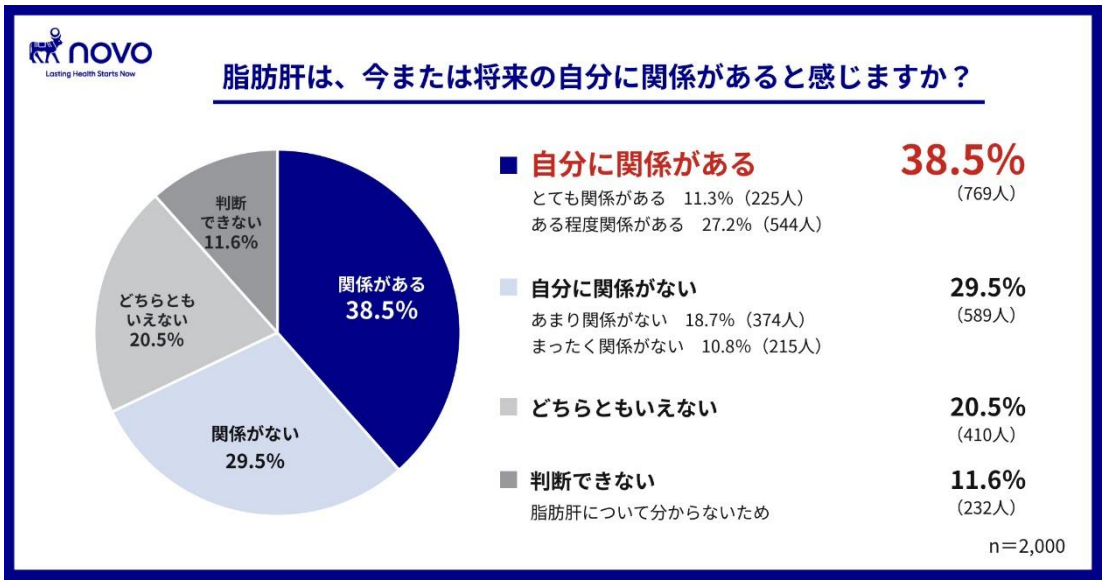
健康への影響を重く捉える人は 48.2%。一方、自身との関係を感じる人は 38.5%

脂肪肝に対するイメージを尋ねたところ、「健康への影響が大きく、注意が必要なもの」と回答した人は 48.2%でした。

一方、「脂肪肝という言葉は知っているが、どのようなものかイメージがない」と回答した人は 19.2%、「脂肪肝という言葉を知らない」と回答した人は 12.0%となり、合計 31.2%は脂肪肝の具体的なイメージを持っていない、または言葉そのものを知りませんでした。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

続いて、脂肪肝を現在または将来の自分に関係がある疾患と感じるかを尋ねたところ、「とても関係がある」「ある程度関係がある」と回答した人は合計 38.5%でした。



一方、「あまり関係がない」「まったく関係がない」と回答した人は合計 29.5%で、「脂肪肝について分からないため、判断できない」とした人も 11.6%いました。

「自分には関係がない」と感じる理由の上位に、体型・運動習慣・指摘経験の有無

脂肪肝を自分に関係がないと感じる 589 人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「太っていないと思うから」（43.3%）でした。次いで、「運動をしているから」（41.4%）、「肝臓について問題を指摘されたことがないから」（40.6%）が続きました。

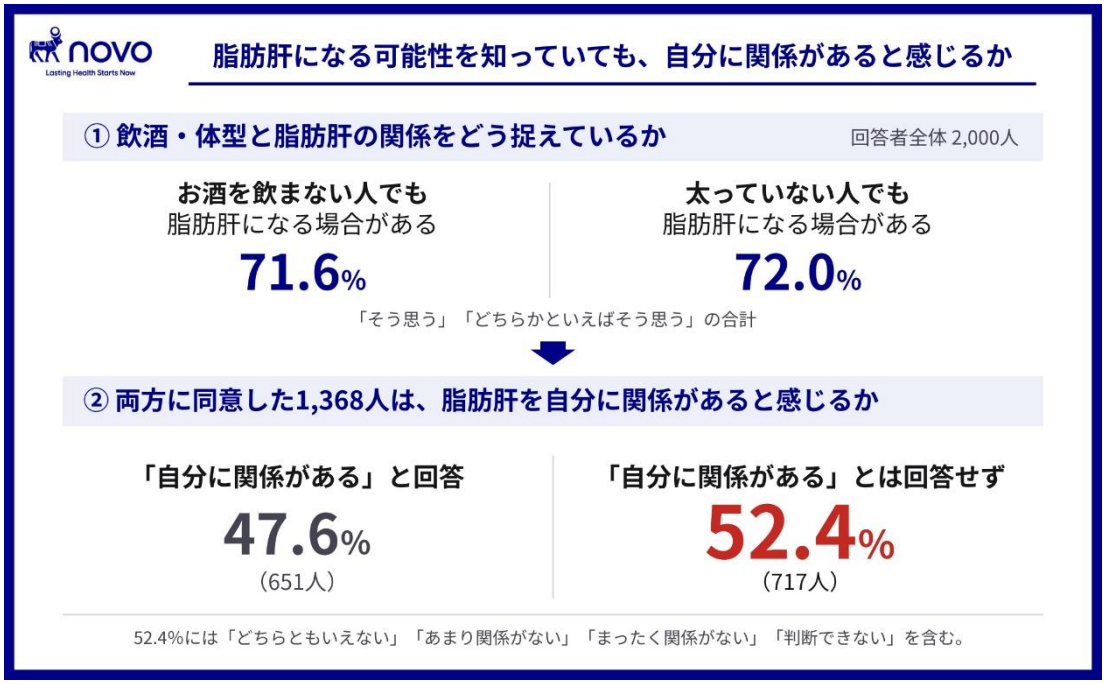
さらに、その中で「最も大きな理由」を一つ選んでもらったところ、「肝臓について問題を指摘されたことがないから」（29.7%）が最多となりました。

飲酒・体型にかかわらず脂肪肝になる場合があると認識していても、自分ごと化にはギャップ

一方、脂肪肝に関する認識について尋ねたところ、「お酒を飲まない人でも、脂肪肝になる場合がある」に 71.6%、「太っていない人でも、脂肪肝になる場合がある」に 72.0%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

さらに、この 2 項目の両方に同意した 1,368 人に絞って、脂肪肝を自分に関係があると感じているかを確認したところ、52.4%は「自分に関係がある」とは回答しませんでした。



この結果からは、脂肪肝に関する一般的な知識を持っていることと、自分自身の健康課題として捉えることの間に、隔たりがある可能性が示唆されます。

4．脂肪肝を指摘された人の約 6 割は、指摘後に『医師に相談した、または診察を受けた』とは回答せず

これまでの健診・人間ドックの結果や医師からの指摘経験について尋ねたところ、「脂肪肝がある」と指摘されたことがある人は 17.2%でした。

また、肝機能に関する血液検査の数値（AST・ALT・γ-GTP など）について、異常がある、または注意が必要と指摘されたことがある人は 18.4%でした。

なお、本調査では、脂肪肝そのものの指摘と肝機能に関する血液検査の数値の指摘を区別して尋ねています。

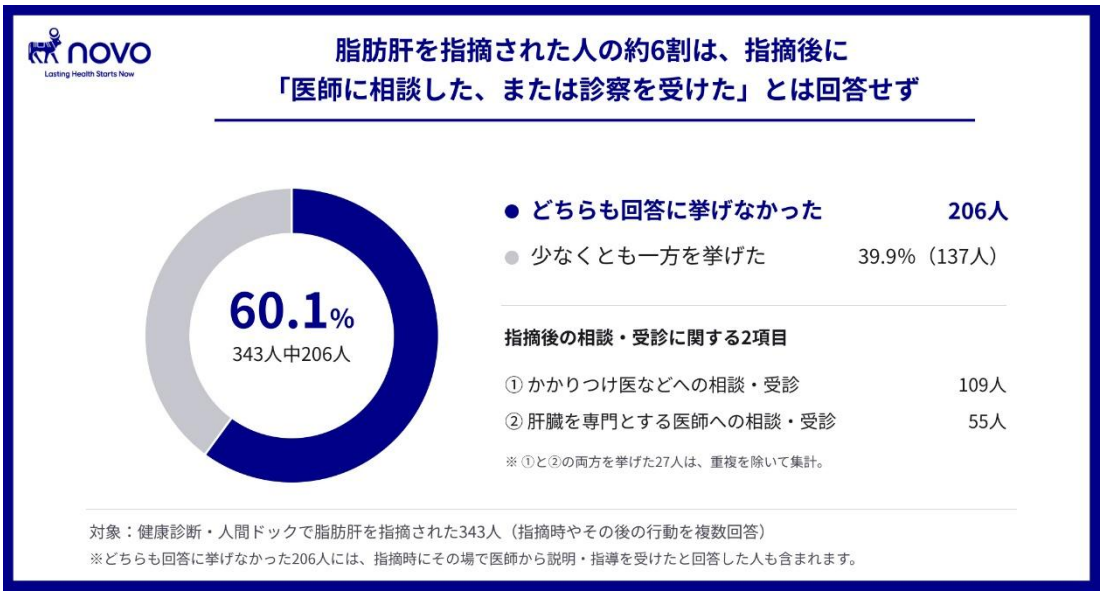
続いて、「脂肪肝がある」と指摘されたことがある 343 人に、直近の指摘時やその後に取った行動を複数回答で尋ねました。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

指摘後の行動として、かかりつけ医などへの相談・受診と、肝臓を専門とする医師への相談・受診のいずれも回答に挙げなかった人は、343 人のうち 206 人（60.1%）でした。

いずれか一方、または両方を挙げた人は 137 人（39.9%）でした。かかりつけ医などへの相談・受診を挙げた人は 109 人（31.8%）、肝臓を専門とする医師への相談・受診を挙げた人は 55 人（16.0%）で、このうち 27 人は両方を挙げました。

また、「上記にあてはまることは、特にしていない」と回答した人も 11.1%いました。



指摘後の行動にはさまざまな違いがみられました。脂肪肝を指摘された場合には、その内容を理解し、必要な検査や対応について医療者と確認することが大切です。

【本調査から見えたこと】

今回の調査では、健康管理に自信がある 40～59 歳の男性においても、MASH の名称の認知や、健診・人間ドックの受診、肝機能検査の判定・対応の必要性の把握に課題がみられました。また、脂肪肝を指摘された際や、その後に取った行動はさまざまでした。

ノボは「自己肝理、はじめよう。」キャンペーンを通じて、肝臓の健康への関心を高め、健診・人間ドックの受診、結果の確認、必要に応じた医師への相談を呼びかけていきます。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com

【調査概要】

項目	内容
調査名	脂肪肝に関する調査
調査期間	2026 年 11 月 5 日(木)～11 月 6 日(金)
調査方法	インターネットリサーチ
調査主体	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
調査実施機関	株式会社ネオマーケティング
調査対象	ご自身の健康のために必要な管理ができていることに「とても自信がある」「ある程度自信がある」と回答した 40～59 歳の男性
有効回答数	2,000 人
年代構成	40 代 680 人、50 代 1,320 人

※各設問の割合は、原則として該当設問の回答者を母数として算出しています。小数第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%とならない場合があります。
※「脂肪肝を自分に関係がないと感じる理由」（Q3）は、当該回答者 589 人を対象としています。
※「健康診断結果の把握状況」（Q4）は、過去 3 年間に健診・人間ドックを 1 回以上受診した 1,565 人を対象としています。本文中の 27.3%は、このうち同期間に 3 回以上受診した 1,174 人について、肝機能の判定と対応の必要性の「両方を把握している」以外の回答を合計した割合です。
※「脂肪肝を指摘された後の行動」（Q6）は、「脂肪肝がある」と指摘された経験がある 343 人を対象としています。
※本調査の結果は回答者の意識および自己申告に基づくものであり、脂肪肝や MASH の有病率、医学的な診断結果を示すものではありません。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル
Tel:03-6266-1700
Email:pressnnpl@novonordisk.com